

2024-25年度クラブ目標

『思いやりがある 感謝のロータリー』

創立1986年



2024-25年度国際ロータリーテーマ

会長 阿部 克弘
幹事 十文字 光伸



第1831回例会

令和6年11月21日 (18:30~19:30)

○ソング

- 我等の生業

○ビジター

- 地区財団委員長 相良元章様
- 南相馬RC会長 野地庄蔵様
- 南相馬RC幹事 玉沢堅司様
- 入会予定者 高田久美子様

○スマイルBOX

- 相良元章様(11月のロータリー財団月間に伴い卓話にお呼び頂きました。何かお役に立てれば幸いです。宜しくお願い致します。)
- 阿部克弘会長(本日は相良様、卓話有難うございました。野地様、玉沢様御来訪有難うございました。高田様、入会お待ちしております。)
- 十文字光伸幹事(本日は地区財団補助金委員長、相良元章様、卓話ありがとうございます。又、南相馬RC野地庄蔵会長、玉沢堅司幹事メイクアップありがとうございます。高田久美子様、入会お待ちしております。)
- 市川正人会員(先日は、誕生日のお祝いありがとうございます。)
- 山田顕一郎会員(結婚記念日のお祝いをいただきましてありがとうございました。子育てもまだまだあり、忍耐の日々が続きますが頑張ります。)
- 永野文雄会員(ゲストの相良元章様、卓話ありがとうございます。南相馬クラブの野地様、玉沢様ようこそ。白河西クラブを楽しんでください。)
- 沼田重一会員(南相馬ロータリークラブの会長・幹事ご苦労様です。福島ロータリークラブ相良様、卓話ありがとうございます。高田久美子さん、ようこそ！ゴルフのライバル一人増えました。)
- 金田昇会員(相良補助金委員長、本日は卓話ありがとうございます。南相馬RC、野地会長、玉沢幹事ようこそ。)

▶第1831回例会出席状況 (R6年11月21日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	53名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	19名
Ⓓ 全正会員数	72名
Ⓒ Ⓐの出席者数	25名
Ⓔ Ⓐのメイクアップ者数	0名
Ⓕ Ⓑの出席者数	13名
Ⓖ = Ⓒ + Ⓔ + Ⓕ (メイクアップ補填後の出席会員数)	38名
Ⓗ = Ⓓ - (Ⓑ - Ⓕ)	66
Ⓘ = Ⓖ / Ⓗ × 100 (例会出席率)	57.5%



11/21

- 本日のメニュー
- ・ポテトサラダ
 - ・海老蒸し餃子
 - ・チキン照り焼き
茹でもやし添え
 - ・白飯
 - ・中華風卵スープ
 - ・香の物
 - ・フルーツヨーグルト

▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30~19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

阿部克弘会長



皆さんこんにちは。本日も出席をいただき有難うございます。

それでは本日のお客様をご紹介させていただきます。

まず初めに国際ロータリー第2530地区2024-25年度地区ロータリー財団委員会補助金委員会委員長「相良元章」様、続きまして国際ロータリー第2530地区2024-25年度南相馬ロータリークラブ会長「野地庄蔵」様、同じく幹事「玉沢堅司」様、そして入会予定者の「高田久美子」様今日を含めて2回出席をいただきますと正式入会となりますので宜しくお願いします。相良様におかれましては後ほど「卓話」を頂戴する事になっております。

相良様は私と同じ福島の方で、ITにも造詣が深い方で以前IT委員会に所属をしたときに地区で相当素晴らしいZoom配信をされていた記憶がございます。またアポロガスさんは福島の飯坂に本社がございまして、私の記憶では「いちい」そして飯坂の支所だと思いましたがその隣に消防署がありまして、そこの公園で良くわが家の愛犬を散歩や遊ばせたこともありました。今でもそうですがその後飯坂温泉の鯖湖湯に入って白河に帰ってくるというパターンでした。

続いて詳しくは今回の週報に詳しく載せてありますが、先週の理事会について報告をさせていただきたいと思っております。

先ず報告事項としまして、これは前に私からも申し上げましたがコザロータリークラブさんと深谷ノースロータリークラブさんの訪問について報告をさせていただきました。また県南分区におきましてガバナー夫妻の歓迎会が開催されたことも併せて報告させていただきました。続きまして地区運営特別委員会設置について諸橋地区幹事予定者から発言がございましてガバナーノミニー並びにガバナーエレクト年度の準備に向けての予算等の確保や運営について全員一致で承認されました。

続きまして親睦活動委員会の沼田委員長から11月28日(木)、来週の新会員歓迎会はこちらの第一ホテルで開催します。それと令和7年1月30日(木)の3ロータリー合同新年会。こちらはシン鹿島で開催されますが、両方とも全員一致で承認されました。今回の3ロータリークラブ合同新年会は、我が西ロータリークラブが主管になりますので親睦委員会ははじめ各関係委員会の方には頑張っただければと思っております。

続きまして職業奉仕委員会の安部和夫委員長から来年

令和7年1月16日(木)の例会は移動例会になる旨の報告があり、村上会員のスポーツジム見学並びにその後シン鹿島で例会を開催する事に全員一致で承認されました。

続きましてプログラム委員会の大住委員長から令和7年1月より会員の3分間スピーチを取り入れて出席率60%の達成とガバナー輩出クラブとして全会員が協力できる体制を整えるのを目的とする旨の発言があり全員一致で承認されました。いろいろと来月や再来月に向けて行事が詰まっております。また年末年始にかけてはお忙しいとは思いますが皆さんには予定を遣り繰りしていただき出席をお願いできればと思っております。

本日は相良様の卓話が30分ありますので、会長の時間は以上とさせていただきます。

今日もどうぞ宜しくお願い致します。有難うございました。

阿部克弘会長

こちらは南相馬ロータリークラブさんからお土産を頂戴しておりますのでご報告申し上げます。有難うございます。

■RLIパート2研修卒業証書授与



卒業書 金田昇殿



○南相馬ロータリークラブ会長 野地庄蔵様

皆様、こんにちは。南相馬ロータリーの野路でございます。本日、うちの幹事の玉沢と一緒に、メーカーをさせていただきます。浜のほうからでございますけれども、南のほうに来る機会ございませんで、本当に今日楽しみにしております。今日はよろしくお願ひします。

■本日のプログラム

○ロータリー財団委員会担当例会

ロータリー財団委員会

金田昇委員長



皆さん、こんにちは。ロータリー財団委員長を仰せつかってます金田です。本来でしたらわたくしが、いろんな資料も含めてお話ししたいところだったんですけど、まだまだ財団に対する勉強不足のところもあり、本日は地区の林委員長にお願いしましたところ相良さんをお願いしてくれということで、相良さんにお電話しましたところお越しいただきましたのでご紹介いたします。それと今日のお客様ということで、南相馬の玉沢さん、RLIの時に同席しまして、その中で会員が辞めないロータリークラブという話をしたら、面白そうだから是非例会出席させてくれというお話をいただきまして、今日、野路様とお二人でお見えになりました。何か参考になっていただければと思いますので、是非今日は楽しんでいただけたらと思います。クラブ紹介は各テーブルに本日のお客様ということで回覧で読んでください。1枚づつというわけにできなかったのです。2007年4月の設立で例会日が火曜日、会場が「新かとり」という所です。メンバーは今年度のスタートの時19名で、女性の方が1名いらっしゃるということで、あとは所属クラブの中でパストガバナーが一人、酒井義盛さんがパストガバナーでいらっしゃるというクラブです。歴史もありますしとても楽しそうなクラブなので、是非私も行ってみたいなと思っております。それと本日、新入会員のほうがいらっしゃるということで、本来でしたら新入会員の「ロータリーに入ろう」というような資料をあげるところだったんですけども、もうロータリアンになるだろうということで「今日からロータリアン」という冊子をプレゼントしますので、是非読んでいただければというふうに思います。そういう資料沢山持っていますので、皆さん言っていただければ何でも提供させていただきます。それでは、ロータリー財団ということで前にも少しお話しました。財団とは何ぞやということで、ちょっとだけお話しします。財団の使命は人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し環境保全に取り組み困難を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を推進することです。ロータリー財団はポリオの撲滅や疾病予防、それから水の提供、難民への支援等々多くの事業行っております。それを支えるのは財団に対する寄付行為でありますし、またそれは翻って私たちが奉仕活動をする時に、補助金ということで申請すれば使えるというふうになっています。その辺のところは後程詳しく補助金委員長のほうからお話しいただけたらと思います。それでは、

本日の講師のほうをご紹介します。ご氏名は相良元章様。1966年12月20日生まれでもうすぐお誕生日ですね。所属クラブは福島ロータリークラブ。職業分類はガス販売、「アポログループ株式会社」の代表取締役であります。入会は2011年2月ということになっております。学校は明治大学でございます。ロータリー歴は2017～18年度クラブの幹事。それから2022～23年度クラブの会長。それから、直近では現在2024～25年の地区財団補助金委員長であります。2025～26年度の県北第一分区のガバナー補佐の予定者ということで、現在いろんなセミナーとかを受講されていて準備されているところでございます。是非楽しみにしておりますので、よろしくお祈りいたします。それでは相良さん、よろしくお祈りいたします。

■2024 - 25年度国際ロータリー第2530地区

○ロータリー財団委員会補助金委員会委員長

相良元章様



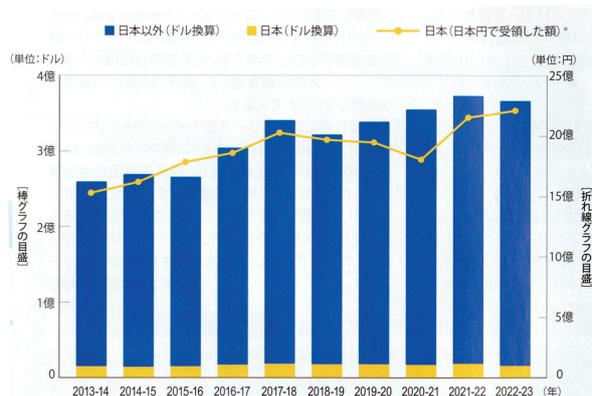
皆さん、こんにちは。只今、ご紹介にあずかりました福島ロータリークラブから参りました。今年度、ロータリー財団の補助金委員長を仰せつかっております相良と申します。どうぞよろしくお祈りをいたします。金田さんのほうから、今日のご依頼を受けましていろいろ考えてまいりました。財団の話ってつまらないじゃないですか、こうお金の話ばかりで結構正直僕も逆に聞く立場で聞いた時には、つまんねえ話だなんていうふうにいつも思うわけです。なので今日は、少しでも眠くならないように今財団って何やってんのというところを中心にお話をさせていただければなというふうに思っております。それでは、ロータリー財団の今月月間でございます卓話をさせていただきます。金田さんのほうからもお話ありましたロータリー財団って何だということでもあります。ロータリークラブを通じてですね、実施されるいろいろな奉仕活動に対して資金的な援助といたしますか、そういった後ろ盾をしていくという非営利団体ということになります。国際ロータリーとは別な組織ということになってますが、もちろんご存じのとおり常に連携していろいろな奉仕活動を進めているということでございます。世界で良いことをしようということで、そのためにこの財団があるんだよということでもあります。スライドの下のほうに、四つ星と書いてあるところがございます。これはチャリティナビゲーターというですね、実はこういった奉仕団体の評価をしているそういう団体がありまして、その中でもこのロータリー財団は四つ星ということで、最高の評価をいただいているということでもあります。四つ星の理

由としては、その指数のうちの88パーセントが実際の奉仕活動に使われているということで、非常にその割合が多いというのが一つの認定の基準だそうでございます。こういった事が財団ということでありまして、ロータリー財団の父ということで、アーチ・クランプという人がこの財団を作ったというふうに言われております。

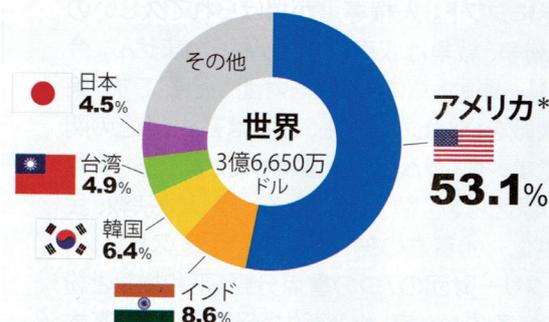


どれがアーチ・クランプなんだということですが、左から2番目というか、座ってる方の左の方がアーチ・クランプさんだそうです。なかなか男前ですよね。上の段の立っている方の右から2番目の方がチェスリー・ペリーさんという、初代の国際ロータリーの事務総長ということでありまして。ちょっと怖い顔してます。下に座ってるアーチ・クランプさんの隣にいらっしゃる方は『ロータリー通解』とかを書かれたガイガンディカーさんです。そういった方が一緒にいて、この方たちは1916 - 17年度の国際ロータリーのスタッフの方々でございます、その時の写真であります。このアーチ・クランプさんというのは非常に苦勞したということが『ロータリーの友』にも書いてありました。お父様の会社がうまくいかなくて12歳の時からもう働きたということ、非常に苦勞されてここまでなられたということでもあります。このアーチ・クランプさんが1917年のもので、アトランタの国際大会でこのロータリー財団を提唱してできたということでございます。一応、財団の卓話ということで真面目な内容も含まれておりますので、ご了承いただければというふうに思います。さて、ロータリー財団の今の現況を少しかいつまんでご報告させていただきます。寄付額の総額ということでもあります。

実は棒グラフのほうは国際ロータリー全体の財団への寄付額ということですが、黄色い折れ線グラフのほうは日本の財団への寄付額ということになります。これ見ていただくと、なんとなくちょっと右肩上がりになってると思いませんか。



寄付総額 国・地域別寄付額トップ5



実はロータリーの会員は減ってるんですけども、実はロータリー財団への寄付額というのはこう上昇傾向にあるということでありまして、一人当たりの寄付額が増えてきているということなのかなというふうに思っています。ちなみに、寄付総額の国地域別の寄付額トップ5ということでもあります。半分以上53.1%がアメリカからということでもあります。

寄付総額 一人当たりの寄付額 国(地域)別トップ5

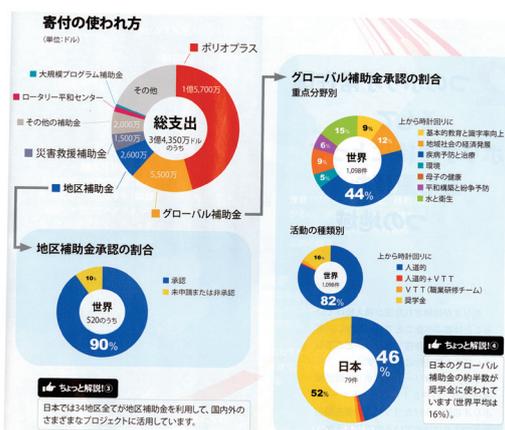
順位	国名・地域名	金額(ドル)	会員数(人)
1	シンガポール	1,452	809
2	ブルネイ	1,099	48
3	マカオ	918	188
4	ケイマン諸島	816	235
5	アメリカ	701	277,424

ちょっと解説! ②

日本の一人当たり寄付額は199ドル(世界27位)。ちなみに台湾は539ドル(7位)、韓国367ドル(13位)、インド182ドル(31位)です。

「マイクロソフト」のビル・ゲイツさんの財団からもらいぶ入ってるみたいでございまして、そういった事も含めて53.1%アメリカということでございます。続いて、インド、韓国、台湾、日本ということ、日本は全体の4.5%ということでもありますので、1、2、3、4、5位ということでございますかね。なんかね、台湾

と韓国のほうが増えてきてるんですよ。ということで、こんな状態が今の寄付額のトップ5ということでもあります。もう一つ、ロータリー財団の総支出額ということでもあります。総支出額は3億4,350万ドルということでもあります。日本円に直しますと、155円で計算しますと532億円ということ、毎年530億円以上のお金をロータリーの奉仕活動に財団は支出してますよということでもあります。ちょっと見ていただくと、赤い所あるじゃないですか。



あそこポリオプラスなんです。すごいですよね、約243億円ということ。532億円のうちの243億円がポリオプラスに使われてます。その次がグローバル補助金ということで85億円。地区の補助金が約40億円ということで、結構この三本柱で6割以上のお金が財団としては使われてますよということでもあります。ちなみに、その次は災害救援補助金であるとか、ロータリーの平和センターとか、大規模プログラム補助金というものに使われてるということでもあります。私も会社やってますので、どうしてもこのお金のほうに目が行くんですね。財団っていったい何に使ってるのかなお金ということで目が行くわけでありまして、その辺を今日調べて皆さんのほうに発表を、聞いてもらいたいなというふうに思っております。一つ目がポリオプラス、次がグローバル、その次は地区補助金に使われてることなので、この3つについてですね、今日はどんな事に使われているんだということをお話してみたいと思います。まず一つ目、ポリオプラスであります。皆さんお馴染みというか、もうよくご存じの事だというふうに思います。諸橋さんは地区の資金管理の委員長ということですよ。資金推進・ポリオ委員会ということで、もうプロフェッショナルでありますので、私から申し上げることはないんですが、昔でいう小児麻痺ということで苦しんでいる子供たちがまだまだいっぱいいるよということだと思えます。ポリオプラスであります。実は最近ニュースになった事があります。それはイスラエルのガザ地区の

ポリオ根絶活動というものがニュースになりました。これは写真は、NHKの報道写真からちょっといただいておまして、なかなか大変な状況であります。ガザの環境サンプルのほうから変異型のポリオウイルス2型というのが検出されまして、10か月の子供がポリオ感染が確認されたということでもあります。ポリオが世界のどこかに存在する限り、全世界の脅威であることを明確に示していますということ。戦闘の人道的一時休止により9月1日にガザで2回にわたるポリオ予防接種キャンペーンが開催されましたということでもあります。ポリオの子供が出たということ、今までイスラエルとガザ地区のほうの戦争がなかなか止まなかったんですが、この子供のためにポリオに罹った子供のために、また罹らないようにするためにですね、予防のワクチン接種をガザ地区で行ったというニュースがございました。やっぱりポリオってなかなか厄介な病気なんだなというふうにやっぱりこれを見ても感じます。

今現在、野生型のポリオウイルスの症例数ということでもあります。皆さん、あんまり『ロータリーの友』どうですか。見てくれてますでしょうか。私、昨年『ロータリーの友』の地区代表委員をした関係上、隅から隅まで『ロータリーの友』読んでおまして、もうみんなが読まない端っこのところに、このポリオウイルスによる症例数というのが実は毎月載ってるということでもあります。常在国と非常在国ということ、二つに分かれておまして、ちなみに常在国としましてはパキスタンとアフガニスタンということでもあります。非常在国はモザンビーク、マルビートということでもあります。まあ、たまに出る国ということなんじゃないかね。まあ、こういったことです。常在国のほうがなかなかなくなりますが、これ見ていただくと一番右の2021年はですね、パキスタンで1件、アフガニスタンで4件ということ、だいぶ減ったなということ、いろいろ希望持ったんですが、その翌年の22年は20の2ということ。また、23年度はちょっと減りまして6件6件という症例数でありました。今年になってさすがに増えてきました。パキスタンで21件、アフガニスタンでも19件ということ、なかなか無くならないんだなということがこれを見てもわかるわけでありませぬ。24年はまだ終わってませんのでこれからですね。もう少し増えていくのかなということでもあります。さて、ポリオプラスであります。パキスタン今ありましたけども、パキスタンでの取り組みのビデオがございましたので、ちょっと見ていただければなと思えます。一部字幕になってますので、ちょっと注意してご覧いただければと思えます。
～～ビデオ上映～～

ということで、年間243億円がこのポリオのほうに使われているということがわかりました。二つ目、グローバル補助金であります。グローバル補助金はロータリーの重点分野でございます。7つのロータリーの重点分野がございますが、その重点分野に関して、例えば日本とうちのクラブはフィリピンとかと前にちょっとやろうと思っていたんですが、支援国とまたそれを受け取る援助国ということで、二つの国にまたがってプログラムを行うというのがグローバル補助金であります。さあ、グローバル補助金の承認の割合ということであります。これも重点分野別でいうと一番多いのが44%疾病予防と治療というところが一番多いんだということがわかります。その次は緑のところの15%なので、水と衛生のところであります。12%のところは、地域社会の経済発展というところで、こういったものに全世界でグローバル補助金が使われているということでもあります。件数としては、年間で1098件と書いてあります。さあ、活動の種類別をちょっと見てもらうと、世界と日本ではですね、ちょっと活動の種類にちょっと差があるということがこの資料からわかりました。上のほうが世界で、下が日本であります。上のほうの円グラフはですね、その1098件の82%が人道的な活動に使われてるということ。16%が奨学金ということであります。ところが日本はですね、46%が人道的な奉仕活動であります。52%半分以上が実は奨学金ということで使われています。財団のほうでもグローバル補助金の奨学生の面接がもうすぐありますが、そういった方に使われてるケースが多いということでもあります。実際のプロジェクトの数よりもですね、こういった奨学金に使うケースが多いということでありまして、この辺はちょっとなんか少し割合を見直したほうがいいのかなんて私は個人的に思っています。

グローバル補助金承認件数 — 実施国と援助国の上位

実施国			援助国		
順位	国名	件数	順位	国名	件数
1	インド	216	1	アメリカ	363
2	イングランド	75	2	韓国	136
3	フィリピン	73	3	日本	79
4	韓国	67	4	台湾	69
5	台湾	54	5	カナダ	47
5	タイ	54	6	オーストラリア	33
6	アメリカ	37	7	ドイツ	32
7	ブラジル	34	8	イタリア	27
8	メキシコ	29	9	インド	26
9	トルコ	25	10	フランス	24

グローバル補助金の承認件数と実施国と援助国の上位ということで書いてあります。左側が実施国でありまして、右側が援助国ということでもあります。右側から

見てもらうと、一番多いのはアメリカ、韓国、日本、台湾ということで、そういった援助国が非常に上位を占めてるということでもあります。左側の実施国であります。一番多いのがインド。次にイングランド、フィリピン、韓国、台湾、タイ、アメリカ。多分、日本にいまして私も財団のほうの仕事してしていると、なんとなく、その援助する国はちょっと言葉選ばないで言うと、困ってる国、貧しい国だったり、そういった所に援助してるのかなというような印象がありました。ところが、この表を見てみるとアメリカ、韓国、台湾とかですね、そういったその援助側の国もですね、実施国のほうにも含まれてるというようなことが初めてわかって、非常にびっくりしたんです。インドなんかもそうです。援助国の9位であります。実施国では1位であります。こういった援助もする。でも実施もするというようなこういったグローバル補助金の使い方っていうのを、今後ちょっと模索していかなくちゃいけないんじゃないかなっていうふうには実は思ってる所でもあります。もともともですね、日本国内にもこのグローバル補助金を利用して、やれることあるんじゃないのということをもっと探すべきじゃないかなというふうには私は密かに、思ってる所でもあります。金田ノミニ、よろしくお願いを申し上げます。続きまして、地区補助金であります。地区補助金、これ僕はあるんが好きじゃないんですがこの表があります。シェアシステムと分配という表があります。ちょっと見ていただきますと、一番上が皆さんの納めてもらってる補助金の原資であります。ロータリアンからの寄付が一番上にあります。そのロータリアンからの寄付は大きく分けて3つに分かれています。一つは、年次寄付。二つ目が、恒久基金の寄付。三つ目が、用途を指定した寄付ということです。年次寄付というのは皆さんから地区から寄付の目標額ということで、年間150ドルというのが来てるというふうには思いますけども、これがそれにあたります。恒久基金というのは、これは幾らでもいいんですがクラブで毎年一人ずつ恒久基金の寄付者、ベネファクターというんですけども、そのベネファクターを出しましょうということで地区のほうでも目標にしています。三つ目が用途を指定した寄付でありまして、これがポリオプラスであるとか、もしくはホームページを見るとわかるんですが災害の特別基金なんかこれに含まれるというふうには思います。その年次基金が、3年後投資されて戻ってきます。ここに下にちょうど中段の所にですね、シェア95%ってありますが運営費5%を差引かれます。残りの90%が戻ってまいります。戻ってくるといってもこれの半分、細かい話だと47.5%であります。そちらがWF国際活動資金とい

うところに行きます。また、残りの47.5%が地区の財団活動資金とDDFというんですが、DDFのほうに行きます。更に、このDDFの中から地区の補助金というところに来るんですが、これが皆さんが活動してるところに実際に戻ってくる実際のお金ということになります。地区のほうではこのDDFの中から半分を地区補助金に出しましょうというふうにしております。上からずっときますと、皆さんから集められた寄付金のうちの約25%が地区補助金として皆さんのお手元に帰ってくるというか、皆さんが使えるお金ということなるわけでありまして。これはちょっとなんかわかりにくいので、もうこれくらいに説明をしたいと思っております。さて、私の場合であります。お得なロータリー財団の寄付ということでちょっと書かせていただきました。実はこのロータリー財団の寄付金はずね、税制上の優遇措置の対象になります。所得控除か税額控除か選べるんですが、これの対象になりますということです。ちょっと字が細かいんですが、国税庁のホームページにもそういった事で書いてありました。下の $100-40-25-2=33\%$ ってなってるのは何かというと、100を例えば寄付を100万円じゃ嫌だから、100円じゃ少ないし、まあ100寄付をしたということになりますと、その40%という措置の対象になります。私の場合は税額控除を選んでますけども、 $100-40\%$ が税額控除になります。更に25というのはさっきのお話のシェアシステムの中で申し上げた25%はクラブに戻ってきます。個人に戻ってくるわけじゃないですが、クラブに戻ってきますよというふうには25%引いて、更に2を引きました。この2というのは何かというと、クレジットカードでこのロータリー財団の寄付をすると、マイルが貯まります。ということで、私のカードは2%マイルが貯まりますので、2%を引かせていただきました。そうすると、100寄付しても、まあ残りは33%ということで三分の一であります。ということは、1万円寄付しても三分の二は何かしらの形で自分たちの所に戻ってくるというふうにも考えてもいいんじゃないかなというふうに思っています。150ドルの目標であったと、自分の本当の負担というかは50ドルということでありますので、まあ1回飲みに行ったつもりで財団の寄付をされたらどうかなというふうには実は思ってる所でもあります。財団の寄付でマイルが貯まるというね、ちょっとねこれこういう話していいのかなという、まあいいかということでございます。さて、今年度の申請の事例をちょっとお話をさせていたいただきたいと思っております。地区の補助金、今年度の申請の事例が幾つかございます。ちょっと見ていただければと思います。クラブ名、郡山南クラブ。カテゴリー、教育プロジェクトの種類はスポーツ。分配金と

いうか、そのお金としては27万7千円がクラブに戻りましたよということです。「第4回尚志郡山南ロータリークラブジュニアサッカーフェスティバル」。学校法人尚志学園尚志高等学校グラウンドで9月に開催されます。大会運営で必要となる参加費や優勝、準優勝の商品の購入代金の補助、審判員派遣費用、ボランティアの昼食代などに使用しますということで、郡山南クラブがこういった事をしたということで申請が上がってきてました。いわき桜ロータリークラブは教育、特殊教育、8万9千円でございます。「アニマルセラピードックによる支援、学校訪問」であります。支援学校の小学部の子供達、先生方、保護者の方々に、教育を受けたセラピードックに触れ合い、心理的に安心していただき元気になり笑顔が溢れる時間を作りたい。補助金は、セラピードック5頭、セラピスト6名の活動費、並びに交通費の一部としますというような8万9千円の申請が上がっております。喜多方クラブ。教育、識字、37万2千円でございます。「レッツエンジョイイングリッシュ3 外国人と会話をしよう」ということでもあります。地区内の小中学生対象に、外国人との交流を通してコミュニケーションを取り、海外の文化、英語に興味を持ってもらう機会とするということで、広報活動費、企画運営費、外国人講師への謝礼などの一部に地区補助金を利用しますということが書いてございます。いわき平中央、これもでございます。ちなみに、白河西さんのも来ておりました。「盲導犬応援プロジェクトin白河2024」ということで、日本盲導犬協会仙台訓練センターより協力を行うということが来ておまして、18万1千円が補助金として白河西さんのほうに分配されるというような手筈になっております。これからということで楽しみにしておりますので、是非よろしく願います。是非、新聞等にもですね、テレビ等にもバンバン宣伝してください。元公共イメージの委員長としてよろしくお願いを申し上げます。こういった事で、今年度の申請の事例が幾つか上がってきています。私は地区のほうで、こんなお願いをしています。是非、地区補助金を使って、クラブを活性化しませんかというお話であります。こういった奉仕活動をしたい、事業をしたいというふうな計画立案をします。また、それを例えば理事会とかですね、協議検討した上で補助金を申請していただいているということです。それを皆で実行して、さっきも申し上げた例えば新聞、テレビ、いろいろなマスコミやSNSで取りあげていただき、社会的な評価もいただきますという事です。達成感、満足感をみんなで味わってまた財団へ寄付していただくということで、まあうまいこと考えてますけども自分勝手な話でございますが、こういうふうには地区補助金を使ってク

クラブ活性化しませんかということで、クラブ活性化のサイクルをグルグルグルグル回していくとですね、クラブみんなが元気になりますよというようなご提案があります。さて、ロータリー財団には、この他にも三つの奨学金制度ということがあります。すべての奨学金に共通な目的ということで、この制度を通じて国際理解と世界平和に貢献することということがございます。三つの奨学金のプログラム。一つは、地区補助金奨学生。二つ目が、グローバル補助金奨学生。三つ目が、平和フェローシップということがございます。この中から今日は、日本で二人目の奨学生と1951年に財団の奨学生になった方をちょっとご紹介をしたいというふうに思います。実は今渡した用紙というのは、皆さんの今のこれからちょっとビデオ見ていただくんですが、この方の英語でスピーチをされているので、その翻訳であります。良かったら見てくださいということです。

～～ビデオ上映～～

はい、ということで実は日本で二人目の財団の奨学生は緒方貞子さんでありました。国連の難民高等弁務官をお努めになり、一昨年、お亡くなりになりましたけれども、こういった方にロータリーの財団の資金が行って、世界平和に役立っているというのは皆さんもご存じの事かなというふうに思います。さあ、皆さん一緒に世界で良いことをしましょうということで、今日の卓話を終了したいと思います。皆様、どうもありがとうございました。



○金田昇会員

相良さん、ありがとうございました。財団について少し理解が深まったのかなというふうに思います。税制上の事は居川先生に聞いていただくと、いろいろ教えていただけると思いますので。それと、補助金なんですけれども今年度の阿部年度の補助金は去年の1月にMOU出してから3月までに事業計画立てて承認されました。次年度はですね、藤田年度もうすぐそろそろ施策等をしていくのかなと思いますので、次年度に向けて、こんな事業をやりたい、あんな事をやってみたいという事がありましたら、次年度の会長エレクトのほうにお願いして財団のほうに申請を早めにやっていき

たいなと思いますので、よろしく申し上げます。それでは、今一度相良会員に拍手をお願いいたします。ありがとうございました。以上を持ちまして、財団担当の卓話を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○諸橋和典会員



私も財団に出向しております。ちょっとだけ説明をさせていただきたいと思います。皆さんの所に配らせていただきましたポリオプラス・ソサエティというのがあります。それはポリオプラスに年間100ドルを寄付することを約束していただければ、ポール・ハリス・ソサエティということになります。ロータリーとの約束なので、四つのテストみたいなもので、そういう約束です。それで現状として西ロータリークラブではどの程度の寄付を行っているかということ、地区目標が一人当たり年次寄付が150ドル、ポリオ基金が30ドルということなんですけれども、白河西ロータリークラブでは2019年から年次基金寄付が100ドル、119ドル、こういった数字になっています。ポリオ基金については非常に少なく、一人あたりだと3.1ドルとか、そういう数字です。これもポール・ハリスになりませんかということ、大体寄付が年次寄付に行ってしまうんです。行ってしまうというか年次寄付に行くことは一般的で、ポリオを指定しないということもありますので、ポリオというところにも目を向けていただきたいと思います。ポリオプラス・ソサエティにクラブから10人くらいなると、クラブとして一人平均30ドルという目標は達成できると思いますので、是非この機会にそちらをやっていただきたいと思います。先程、相良さんからも説明あったようにカードで支払うといいという事なのですが、カードで支払えるのがマイロータリーからなんです。マイロータリーは、西クラブは幸い100パーセント近い登録率なんですけれども、実際に使用している方は非常に少ないような状態なので、そこを利用していただいでカードによる寄付をお願いしたいと思います。その時注意していただきたいのが、ドルと円があるのですけれども円で寄付をしていただきたいと思います。円で寄付しないと税制上の優遇が受けられないので、円で寄付をお願いします。わからない事があったら私に聞いていただければ説明できると思いますので、よろしく申し上げます。早口になりましたけれども、是非ポリオプラス・ソサエティの募金にいただいて、わたくしにいただくか地区の事務所までファックスしていただきたいと思います。以上です。ありがとうございました。